

事務事業名	公社造林事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグループ	課長名	高野耕治
施策名	(34)林業の振興	担当者名	藤本万葉	電話番号(内線)	0854-40-1051
基本事業名	(102)適切な保育管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 110 315 011		3706 公社造林受託事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	雲南市・林業公社・森林所有者の3者と50年間の森林整備を目的とした分収造林契約書に基づく造林地の保育を行う事業。尚、現在、契約期間を50年から約30年延長し80年間とする変更契約業務及び契約地の一部解約等に伴う立木補償金の支払い業務を実施している。	昭和40年に社団法人島根県林業公社の設立に伴う分収造林契約の締結

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
【公社造林保育事業】除伐・枝打 128.27ha 32,178千円、間伐・枝打 250.58ha 44,433千円、利用間伐 38.96ha(うち繰越22.76ha) 15,953千円(うち繰越9,779千円)、利用間伐測量 21.73ha 162千円、作業道開設 4路線 3,199.6m 39,096千円、事務費1,390千円	事業費						
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円	152,561	79,106	130,264	81,289	100,000
	一般財源	千円			2,948	900	
	事業費計(A)	千円	152,561	79,106	133,212	82,189	100,000
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費						
保育事業:①公社から事業受託。②森林組合へ事業発注(委託)。③事業完了検査。④公社へ実績報告等。立木補償:①契約者へ説明・承諾等②立木補償金支払	正規職員従事人数	人	4	4	4		
	延べ業務時間	時間	300	300	300		
	人件費計(B)	千円	1,144	1,166	1,183	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	153,705	80,272	134,395	82,189	100,000

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 公社造林事業受委託、実績報告、事業検査、事業費の支払い、分収造林変更契約、立木補償金、分収金支払、土地使用・解約承諾	⑤ 活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 公社造林事業受委託、実績報告、事業検査、事業費支払い、分収造林変更契約、立木補償金、分収金支払、土地使用・解約承諾、り災造林地調査・報告・復旧	ア 委託件数	件	41	25	18	20	20	
		イ 委託金額	千円	152,561	79,106	131,822	79,289	100,000	
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	公社分収造林地、市内森林所有者等	⑥ 対象指標							
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 林家数	戸	3,779	3,779	3,759	3,759	3,759	
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦ 成果指標							
	森林を適正に保全する	ア 公社造林地整備面積	ha	794	345	395	400	400	
		イ							
		ウ							
		⑧ 上位成果指標							
		ア 間伐実施面積	ha	637	442	530	590	650	
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
本事業の財源は(社)島根県林業公社が負担するが、公社の資金不足や県の造林補助事業の予算不足も相まって、必要な事業量が確保出来ていない状況である。しかしながら、近年は国の林業関係事業が拡大傾向にあり、公社の事業量も拡大傾向にある。	事業発注方法の効率化、造林地の現況調査を実施し実態に即した施業の実施、利用間伐の促進、効率的な作業路の開設	公社造林契約者(森林所有者)より、もっとしっかり森林を管理してもらいたいとの要望がある。そのため、(社)島根県林業公社の経営改善が必要との声がある。

事務事業名	公社造林事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 本事業を実施することで、市内の森林の適正な保全につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 公社分収造林契約において市の事業実施が義務付けられている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、公社造林地に限定されており、その適切な管理を行う意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 県・公社の予算不足により、現状では100%の対応ができていない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 公社・森林所有者との契約に基づく事業であり、公社造林地の適切な管理のため休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県に準じた設計積算と、それに基づく入札を実施しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 定められた業務を適切に実施しており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内全ての公社造林地を対象として実施しており公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	材価の大幅な低下により、林業公社の経営は非常に厳しい状況にある。そのため、必要な事業を全て実施することは難しく、満足な施業が必ずしも実施できていない。しかし、近年は国の事業により間伐等が推進されていることから事業量は増加しており、森林の調査・評価に基づく効率的な施業を進める必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
林業公社の経営が非常に厳しい状況にあることから、市もさらなるコスト削減に協力して事業を実施していく必要がある。																						